

(評価資料5)

<p>評価項目</p>	<p>5 大学・企業等との連携、外部資金の導入、受託研究への対応に関すること</p>
<p>当センターの状況</p>	<p>(1) 大学、企業等との効果的な連携の実施          大学、企業等との効果的な連携について、センターの役割上、企業との連携は少ないが、共同研究機関は大学や他の公設試験研究機関を中心に県内だけでなく、国内外にわたっている。</p> <p>(2) 積極的な競争的資金への応募          当センターでは試験検査業務が業務全体の約8割を占め、競争的資金の応募はノウハウも少なく業務負担が大きくなるため、これまで、他の研究機関の共同研究者となる方法が主であった。その中で、平成28年度には、大同生命厚生事業団からの助成を受けた研究を実施した。</p> <p>(3) 受託研究への十分な対応          当センターの役割や業務量を勘案すると、受託研究数を増やしていくことが難しいが、環境エコ調査は平成13年度から現在まで継続していること、平成20年度から開始した韓国との共同研究も継続していることなどから、受託研究への対応が十分にできていると考えている。今後は受託分野を広げていくことが課題と認識している。</p>
<p>評価結果</p>	<p>○ 評価 A：適当（3人）・B：要改善（3人）・C：不適當（0人）          ○ 評価コメント</p> <p>(1) 大学、企業等との効果的な連携の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外を含む大学や研究機関との連携が活発に行われている。</li> <li>・ 効果的な連携については、実施されているもののさらなる連携の強化が望まれる。</li> <li>・ 関連した研究者との連携が不十分。</li> <li>・ 大学、企業等との効果的な連携が実施されている。</li> <li>・ 多数の外部研究機関との連携研究を実施している。</li> </ul> <p>(2) 積極的な競争的資金への応募</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究助成の採択を受けており成果も出ている。</li> <li>・ 努力は認められるので、さらに工夫をお願いしたい。</li> <li>・ 競争的資金の獲得は、更に努力を要する。</li> <li>・ 競争的資金獲得への対応が不十分。</li> <li>・ 実施課題の中では競争的資金が獲得できる課題があるので、積極的な競争的資金への応募が望まれる。</li> </ul> <p>(3) 受託研究への十分な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受託研究の拡大に更なる努力が望まれる。</li> <li>・ 受託研究には十分対応が出来ている。</li> <li>・ 十分に対応している。</li> </ul>
<p>センターの対応方針</p>	<p>大学、試験研究機関等との連携・共同研究をより一層進めるとともに、競争的資金への応募や受託研究に対応できる人材の育成と研究支援体制の整備を図っていく。</p>